

## 令和5年度（7月） 第4回浜北区協議会 次第

日時：令和5年7月27日（木）午後1時30分から

会場：浜北区役所 大会議室（なゆた・浜北3階）

### 1 開 会

### 2 報 告

(1) 浜北区役所各課の主要事業等について【資料1】※当日配布

ア 社会福祉課

イ 長寿保険課

ウ 健康づくり課

### 3 その他

(1) その他

地域課題等について（前回会長提案）

(2) 次回開催日程について

### 4 閉 会

## 令和5年度主要事業等について

浜北区・社会福祉課

## 1 重点事業（主要事業、継続事業）

- (1) 生活保護適正実施事務事業
- (2) 児童手当、児童扶養手当支給事業
- (3) 民生委員・児童委員事業
- (4) 児童家庭・女性相談事業
- (5) 障害児者自立支援給付事業・地域生活支援事業

## 2 課題・懸念事項

- (1) 生活保護適正実施事務事業の増加

[経緯]

令和2年から、新型コロナウイルスの影響もあり、生活保護の相談が急激に増加した。令和2～3年は、稼働年齢層の世帯である「その他」世帯の申請が増え、構成比が高くなった。

コロナが少し落ち着いた令和4年は、相談及び申請は、「その他」世帯が減って「高齢者」世帯が増加している。

(表1) 浜北区の生活困窮相談件数の推移

区分	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
相談件数(件)	172	174	177	195	194

(表2) 浜北区の生活保護の推移

区分	H31.4	R2.4	R3.4	R4.4	R5.4
世帯数(世帯)	277	285	289	290	286
人数(人)	342	354	369	364	342

(表3) 浜北区の世帯類型別構成比

(単位：%)

区分	H31.4	R2.4	R3.4	R4.4	R5.4
高齢者	49.4	50.2	48.4	49.5	50.3
母子	4.3	3.5	3.1	3.2	2.1
障害	15.2	14.7	13.9	15.8	16.1
傷病	6.9	7.0	6.2	4.9	6.3
その他	24.2	24.6	28.4	26.6	25.2

[今後の取組]

雇用状況は、浜松ハローワーク管内では緩やかな回復がみられるが、浜北区管内では、依然として改善傾向はみられない。

また、高齢者人口が年々増加していることから、今後も高齢者を中心に、生活保護の相談及び申請が増加することが見込まれる。

# 令和5年主要事業等について

浜北区・長寿保険課

## 1 重点事業（主要事業、継続事業）

- (1) 高齢者総合相談・虐待相談対応事業
- (2) 徘徊高齢者早期発見事業
- (3) 要介護認定に関する事業

## 2 課題・懸念事項

- (1) 徘徊高齢者早期発見事業  
高齢化率の増加に伴う認知症による行方不明者の増加

### [経緯]

#### ① 浜松市における認知症高齢者の状況

要介護認定に用いられる主治医意見書から日常生活に支障をきたす症状がみられる高齢者の数を推計すると、令和3年の24,553人から令和7年には27,976人と大きく伸びており、令和22年には31,000人を超えるものと見込まれている。また、令和3年の認知症高齢者の数は、高齢者224,016人の約1割に相当し、要介護認定者39,344人の6割となっている。(令和4年4月 浜松市オレンジガイドブックより)

#### ② 徘徊高齢者の現状

認知症高齢者等によるひとり歩き（徘徊）は高齢化の進展とともに増加しており、浜松市におけるオレンジメール配信者数も、令和元年度には34人（延）であったが、令和3年度には54人（延）に増加している。

高齢者の徘徊は、早期発見に至らない場合には命に関わる重大な行動であり、早期発見や徘徊の予防が重要になる。

### [今後の取組]

#### ① オレンジシール・オレンジメール事業

認知症高齢者等が行方不明になった際、地域の見守り協力者（オレンジメール登録者）に対してオレンジメールを発信し、早期発見及び保護を行うための体制整備を継続する。

#### ② 認知症ひとり歩き（徘徊）模擬訓練事業

令和2年度から地域包括支援センターに委託をして実施しており、令和4年度末までに全ての地域包括支援センターで模擬訓練が実施された。

本事業は認知症の正しい知識の普及と、ひとり歩き（徘徊）高齢者等への対応訓練に重きを置いており、地域における見守り体制の推進までには至っていないのが現状だが、本事業を実施することで地域住民の認知症高齢者への関心が高まる傾向があることから、徘徊模擬訓練の連続性を持たせることで見守り体制の推進へ繋げていきたいと考えている。

〈参考〉

オレンジシール・オレンジメール事業（浜松市全体）

項目	R4	R3	R2	増減（R4-R3）
オレンジシール交付者数	978人	928人	812人	50人
オレンジメール登録者数	2,866人	2,514人	2,334人	352人

事業実施状況（R4年度） R5.3.31現在数

	中区	東区	西区	南区	北区	浜北区	天竜区	市外 他	合計
シール 交付者 数	320人	149人	135人	121人	112人	110人	31人	—	978人
メール 登録者 数	706人	512人	460人	333人	284人	326人	106人	139人	2,866人

認知症ひとり歩き（徘徊）模擬訓練事業

項目	R4	R3	R2	増減（R4-R3）
委託数 （地域包括支 援センター）	12か所	7か所	5か所	5か所

浜北区での実績

R2 高畑地区

R3 中瀬地区（※独自開催のため、R3委託数には含まれていない）

R4 尾野地区、鹿玉地区

(2) 要介護認定に関する事業

要介護認定の申請から決定までの期間は、介護保険法第27条第11項において、「申請のあった日から30日以内」とされている。

[現状]

資料：介護保険課

申請～決定までの所要日数（R5.3審査会開催分） 単位：日

	中	東	西	南	北	浜北	天竜
平均	45	46	51	64	46	41	35
最大	113	97	111	131	94	81	94
最小	9	12	13	14	14	13	14

訪問調査件数の推計

単位：人

	R4	R5	R6	R7	R8	R9
浜松市	35,722	34,220	35,052	37,179	37,592	37,895
浜北区	3,320	3,062	3,101	3,278	3,322	3,355

※R4年度は実績値

- ・市全体としては、75 歳以上の高齢者人口の増加に伴い、要介護認定の申請件数が増加している。
- ・浜北区での所要日数がかかっている主な原因として、調査対象者が転院等により調査区の変更が生じ、訪問調査の再調整が必要になるケースがあげられる。

[今後の取組]

- ・所要日数がかかったときはその都度原因の分析を行い、グループ全体で課題の解決に取り組む。
- ・市全体で各区の調査遅れを解消するため、近隣の区の調査案件を可能な範囲で引受けるなど7区において連携を図っている。今後も協力体制を継続していく。

# 令和5年度主要事業等について

浜北区・健康づくり課

## 1 重点事業（主要事業、継続事業）

### (1) 妊産婦乳幼児健康診査事業

保護者や児の心身の健康の保持増進を図り、適切な支援を提供する。

### (2) 地域保健活動事業

区民の健康の保持増進を図るため、がん検診や予防接種を実施するとともに、生活習慣病予防や歯科保健、食を通じた健康づくり等の健康教育・健康相談を実施する。

## 2 課題・懸念事項

### (1) 浜名区への円滑な移行について

[経緯]

・令和5年市議会2月定例会において、区再編に関する条例案が議決

[今後の取組]

・浜名健康づくりセンターへの円滑な移行への準備

・健康増進課を中心として全区共同で事務フロー等の整備の着手

※実施方式（集団・個別）が異なる3歳児健康診査は、再編後も今まで通りの方式を維持していくため浜北区と北区で事務フローを分ける。

・3歳児健康診査については、引き続き事業が円滑に進むよう市民に対して丁寧な説明を行い、理解が得られるよう努めていく。

### (2) がん検診受診率向上に向けた積極的な周知・啓発

[経緯]

健康増進法に基づき浜松市では各種がん検診を実施している。浜北区でのがん検診受診率は市の平均と比較して総じて高いが、新型コロナの影響による受診控えにより受診割合が低くなっている。

[今後の取組]

がんの早期発見のための最も有効な手段であることから、受診率向上に向け、啓発月間や健康相談、教室等の機会を利用し、区民に周知・啓発を行う。

### ○がん検診別受診割合（国保加入者）

区分	結核・肺がん		胃がん		大腸がん		子宮がん		乳がん	
	市全体	浜北区	市全体	浜北区	市全体	浜北区	市全体	浜北区	市全体	浜北区
令和元年度	27.6%	32.5%	16.3%	18.2%	25.2%	29.2%	11.9%	12.6%	16.1%	15.6%
令和2年度	25.6%	31.0%	14.1%	16.4%	22.9%	27.2%	10.4%	11.3%	13.9%	14.6%
令和3年度	26.8%	31.6%	15.1%	17.4%	24.1%	27.9%	10.9%	12.3%	14.7%	14.2%

※ゴシックは市全体と比較して低い